

授業と評価の年間計画

教科	理数	科目	理数生物
使用教科書（発行所）		i 版 生物基礎（啓林館）	
履修条件 対象生徒	必修 理数科 1年		
学習目標	生物学における基本的な概念、原理・法則などについての系統的な理解を深め、科学的に探究するために必要な知識や技能を身に付ける。また、生物や生物現象に関して、観察、実験などを行い、科学的に探究する力と、自然に対する関心を高め、事物・現象を科学的に探究しようとする態度を身に付ける。		
学習方法	教科書、デジタル教材、授業プリントなどを用いて授業を進める。授業では教科書記載の基礎的知識や概念を修得するだけでなく、より発展的な内容の学習や口頭での応答力を育成する。 教科書、デジタル教材、授業プリントなどを用いて、予習、復習を進める。資料集の活用、授業直後の問題演習も効果的である。		
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期</p> <p>(1) 中間検査まで ア 生物の特徴</p> <p>(2) 期末検査まで ア 遺伝子とその働き</p> <p>2 2学期</p> <p>(1) 中間検査まで ア 神経系と内分泌系による調節</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての生物に見られる共通な特徴を学ぶ。</li> <li>生物の基本的単位である細胞の構造について学ぶ。</li> <li>生命活動に必要なエネルギーをどのように獲得しているかについて学ぶ。</li> <li>DNA にはどのような特徴があるのかについて学ぶ。</li> <li>遺伝情報が親から子へどのように受け継がれるのかについて学ぶ。</li> <li>遺伝情報からどのようにしてタンパク質が作られるのかについて学ぶ。</li> <li>ヒトの体内環境の変化がどのように認識されるのかについて学ぶ</li> <li>ヒトの体内環境の変化に応じて、どのようなしくみが働いて一定の状態に保たれるのかについて学ぶ。</li> </ul>	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生物学における基本的な概念、原理・法則などについての系統的な理解を深めているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもつて観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	定期検査の成績に加えて、課題・実験操作・提出レポート・授業への取組状況等評価方法を評価し、総合的に判断して評価する。		
その他	<p>1 2学期中間検査までに週に2時間理数生物を集中的に行い、以降は週に2時間理数物理を集中的に行う。それぞれの総授業時間数は35時間ずつとする。</p> <p>2 2年次、3年次につながる発展的な内容を一部取り扱い、学習を深める場合がある。</p>		